

2020年度（令和2年度）（2次募集）

横浜国立大学

大学院国際社会科学府経済学専攻

博士課程前期（金融プログラム特別入試）学生募集要項

【出願手續について】

出願手續は、インターネットから出願申請を行った上で、必要書類を提出してください。

1. 出願申請に必要な環境

出願申請を行うためには、インターネットを利用できるパソコン、プリンター及び電子メールアドレスが必要です。

2. 出願手續の流れ

（1）メールアドレス等の登録

①本学のWeb出願システムにアクセスしてください。

URL : <http://e-apply.jp/e/ynu/>

②画面の指示に従って、志望する専攻等を指定してください。

③氏名やメールアドレス等を登録し、申込を行ってください。

④メールアドレス等の登録が済みましたら、登録完了メールが届きます。

（2）出願申請から出願書類提出まで

①Web出願システムにログインし、必要な事項を入力し登録してください。（出願申請）

②出願申請後、Web出願システムから入学検定料の支払い方法を選択してください。

③選択した方法に基づき、入学検定料を支払ってください。

④入学検定料の支払完了通知メールを受信した後、Web出願システムから出願に必要な書類を印刷してください。

⑤印刷した書類及び証明書等を所定の出願期間内に提出してください。

⑥全ての書類が本学府に到着した時点をもって、出願手續が完了となります。

※Web出願システムに出願申請を行っただけでは出願手續は完了しませんので、ご注意ください。

※出願手續の詳細は、本要項及びWeb出願システムにて確認してください。

※私費外国人留学生授業料免除制度が変更になりました。授業料免除の申請は、出願時に他の出願書類と一緒に提出してください。変更後の内容は募集要項のXIVをご覧ください。

＜専攻案内＞

国際社会科学府の経済学専攻では、①グローバル化する現代経済社会の現象について経済学に基づいた経済分析を行うことができる人材、②国際的に広く通用する高度な経済学の基礎的専門能力を持つ人材の養成を目指しています。修了生のキャリアとしては、国内外の博士後期課程への進学、高度専門的職業人としてシンクタンク、国際機関、行政機関、金融機関、民間企業などへの就職が見込まれます。

経済学専攻では、経済学の基礎理論、経済システムの分析、経済情報の収集・処理・分析、国際経済の分析、比較経済発展の分析、市場における競争と協調の理解、政策分析、環境と開発をめぐる分析などを学びます。また、2008年度より開設された「金融プログラム特別コース」では、本学工学府、環境情報学府と共同で授業を行い、経済学・数学・計算機科学の幅広い知識能力とそれらのファイナンス分野への応用能力を育成し、近年の金融市場の自由化・国際化の流れに対応できる実践的な人材を養成します。

経済学専攻に所属する者は、一定の要件のもとに「修士（経済学）」の学位を取得することができます。また、「金融プログラム特別コース」では一定の条件の下に、修士（経済学）の他、金融工学副専攻プログラム（工学）を修了したことが成績証明書に記載されます。なお、博士課程後期経済学専攻においても金融プログラム（金融EP（Education Program））が開講されており進学が可能です。

2020年度の授業科目および指導教員は下記のとおり予定されています。（休講科目や新設科目が生じる可能性があります。）

- (1) A群は経済学専攻に所属する者がコア科目として主に1年次に履修する科目、B群はコア科目の履修後に専門性の高い科目として履修する科目です。
- (2) C群は、留学生特別コースおよび英語教育プログラム（英語EP（Education Program））のための授業科目で、英語によって講義が行われます。留学生特別コースは、世界銀行から奨学金を給付された世銀加盟国政府幹部候補者を対象とする「公共政策・租税博士課程前期コース（PPT）」、インドネシア共和国政府幹部候補者を対象とする「インドネシアリンケージマスタープログラム（ILP）」、アフリカ諸国のビジネスリーダー候補者等を対象とする「アフリカ経済学ビジネスイニシアティブ（AEBI）」（JICAのABEイニシアティブ対応プログラム）から成り立っています。英語教育プログラムは、「International M.A. Program in Economics」から成り立っています。一般学生、社会人学生は各担当教員の承認を得てC群から科目を履修することができます。
- (3) このほか、演習、特別講義等が開講されます。

なお、指導教員については、国際社会科学研究院に所属する経済学専攻担当の教授および准教授から選ぶことができます。「金融プログラム特別コース」では経済系・工学系教員各1名からなる正・副2名の指導教員が院生の指導にあたります。

<授業科目名>

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 単位数 | | | |
|------------|-------------|----------|-------|-----------|---|
| A群 | コア科目 | 経済原論 | 2 | | |
| | | ミクロ経済学Ⅰ | 2 | | |
| | | ミクロ経済学Ⅱ | 2 | | |
| | | マクロ経済学Ⅰ | 2 | | |
| | | マクロ経済学Ⅱ | 2 | | |
| | | 現代経済システム | 2 | | |
| | | 比較経済システム | 2 | | |
| | | 経済政策 | 2 | | |
| | | 世界経済論 | 2 | | |
| | | 経済史 | 2 | | |
| | | 日本経済史 | 2 | | |
| | | 経済統計 | 2 | | |
| | | 数理統計学 | 2 | | |
| | | 計量経済学 | 2 | | |
| | | 経済数学 | 2 | | |
| | | B群 | 理論経済学 | 経済原論特論 | 2 |
| | | | | ミクロ経済理論特論 | 2 |
| マクロ経済学特論 | 2 | | | | |
| 経済学史 | 2 | | | | |
| 経済学史特論 | 2 | | | | |
| 社会科学方法論 | 2 | | | | |
| 社会科学方法論特論 | 2 | | | | |
| 現代経済システム特論 | 2 | | | | |
| 比較経済システム特論 | 2 | | | | |
| 経済史 | 経済史特論 | | | 2 | |
| | 日本経済史特論 | | 2 | | |
| | 現代経済史 | | 2 | | |
| | 現代経済史特論 | | 2 | | |
| | 国際経済史 | | 2 | | |
| | 国際経済史特論 | | 2 | | |
| | アジア経済史 | | 2 | | |
| アジア経済史特論 | 2 | | | | |
| 量統計学 | 経済統計特論 | | 2 | | |
| | 数理統計学特論 | | 2 | | |
| | 計量経済学特論 | | 2 | | |
| 応用経済学 | 経済政策特論 | | 2 | | |
| | 世界経済論特論 | | 2 | | |
| | 金融論 | | 2 | | |
| | 金融論特論 | | 2 | | |
| | ファイナンス | | 2 | | |
| | ファイナンス特論 | | 2 | | |
| | 金融工学 | | 2 | | |
| | 金融工学特論 | | 2 | | |
| | 公共経済学 | 2 | | | |
| | 公共経済学特論 | 2 | | | |
| | 実証財政学 | 2 | | | |
| | 地方財政学 | 2 | | | |
| | 地方財政学特論 | 2 | | | |
| | 地域経済政策 | 2 | | | |
| | 地域経済政策特論 | 2 | | | |
| | 社会福祉政策 | 2 | | | |
| | 社会福祉政策特論 | 2 | | | |
| | 農業政策 | 2 | | | |
| | 農業政策特論 | 2 | | | |
| | 労働経済学 | 2 | | | |
| | 産業組織論 | 2 | | | |
| | 応用ミクロ計量分析特論 | 2 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|------------------------|---|------------------|---|---|
| B群 | 応用経済学 | 国際貿易論 | 2 | |
| | | 国際金融 | 2 | |
| | | 国際金融特論 | 2 | |
| | | 外国為替論 | 2 | |
| | | 外国為替論特論 | 2 | |
| | | 国際環境経済 | 2 | |
| | | 国際環境経済特論 | 2 | |
| | | 中国経済 | 2 | |
| | | 中国経済特論 | 2 | |
| | | ロシア東欧経済 | 2 | |
| | | ロシア東欧経済特論 | 2 | |
| | | 途上国経済 | 2 | |
| | | 途上国経済特論 | 2 | |
| | | その他関連分野 | 国際コミュニケーション | 2 |
| 国際コミュニケーション特論 | 2 | | | |
| 言語コミュニケーションとアイデンティティ | 2 | | | |
| 言語コミュニケーションとアイデンティティ特論 | 2 | | | |
| C群 | コア科目 | Microeconomics I | 2 | |
| | | Macroeconomics I | 2 | |
| | | Statistics I | 2 | |
| | | Economic Systems | 2 | |
| | | Economic Policy | 2 | |
| | | その他選択科目 | International Economics and Public Policy | 2 |
| | Tax Law of Japan II | | 2 | |
| | Asian and African Economies | | 2 | |
| | World Economy | | 2 | |
| | Applied Econometrics | | 2 | |
| | Applied Microeconomics | | 2 | |
| | Regional Strategies of Economic Development | | 2 | |
| | Public Economics | | 2 | |
| | Economic Planning and Energy Policy | | 2 | |
| | Economic Development | | 2 | |
| | Applied International Trade | | 2 | |
| | Microeconomics II | | 2 | |
| | Macroeconomics II | | 2 | |
| | Statistics II | | 2 | |
| | Public Finance | | 2 | |
| | International Finance | | 2 | |
| | Environment and Development | | 2 | |
| | Technology Strategy for Development | | 2 | |
| | Tax Law of Japan I | | 2 | |
| | Japanese Culture and Society | | 2 | |
| | Global Economy and Multinational Corporations | | 2 | |
| | 学府共通科目 | | Thesis Writing | 2 |
| | | | Presentation and Discussion Skills | 2 |
| | 演習科目 | | 演習Ⅰ | 2 |
| | | | 演習Ⅱ | 2 |

金融プログラム特別コース 理工学系科目

| | | |
|--------------------|---------|---|
| 理工学系 選択必修 科目 | 確率過程 | 2 |
| | 知能システム論 | 2 |
| | 解析学特論 | 2 |
| | 数値解析学 | 2 |
| | 応用数値解析 | 2 |

<指導教員>

| 教員名 | 研究領域・テーマ |
|-------------------------|---|
| 石山 幸彦 教授 | ヨーロッパ統合史、フランス経済史 |
| 伊集 守直 教授 | 財政学、地方財政論 |
| 居城 琢 教授 | 地域経済論、産業連関論、環境経済論（地域経済における中小企業の分析、地域経済における環境問題の分析、日本の各地域や世界の各地域の地域間分業の分析） |
| 植村 博恭 教授 | 経済システムの制度分析、マクロ経済分析、経済制度の多様化と進化の研究、経済成長と所得分配の研究 |
| 氏川 恵次 教授 | 環境経済学 |
| 大森 義明 教授 | 労働経済学、家族の経済学 |
| 岡部 純一 教授 | 経済統計学、社会統計学、インド統計制度論 |
| 奥村 綱雄 教授 | 金融論、マクロ経済学、計量経済学 |
| 加島 潤 教授 | 中国経済史 |
| 木崎 翠 教授 | 中国経済、中国企業システム、政府と市場 |
| 小林 正人 教授 | 時系列モデルの統計分析 |
| 佐藤 清隆 教授 | 為替レート、国際金融の実証研究 |
| 相馬 直子 教授 | 社会政策学、福祉社会学、東アジアにおける家族政策の国際比較研究 |
| 土井 日出夫 教授 | 価値論、現代資本主義論 |
| 永井 圭二 教授 | 数理統計学 |
| 中村 靖 教授 | 比較経済、ロシア経済 |
| 中村 良夫 教授 | 言語学、広告学をベースにキャッチコピーを中心とした広告分析と社会・文化との関連 |
| Parsons Craig Robert 教授 | 国際貿易、VIE、貿易政策の計量分析、輸入関数分析 |
| 深貝 保則 教授 | 功利主義、ブリテン経済思想史、経済倫理学 |
| 藤生 源子 教授 | マクロ経済学、経済成長論、経済動学 |
| 邊 英治 教授 | 日本経済史・金融史 |
| McAulay Alexander 教授 | 応用言語学、異文化コミュニケーションとアイデンティティ |
| 松永 友有 教授 | 国際経済史、英国通商政策・社会政策史 |
| 山崎 圭一 教授 | ラテンアメリカ経済、途上国のサステイナブルな発展 |
| 池島 祥文 准教授 | 農業経済学、都市農村間関係分析、地域農業開発 |
| 熊野 太郎 准教授 | ミクロ経済学、マーケットデザイン |
| Shrestha Nagendra 准教授 | 国際産業連関表の推計・分析、為替レート |
| 佐野 隆司 准教授 | ゲーム理論、ミクロ経済理論 |
| 鈴木 雅貴 准教授 | ファイナンス、資産価格理論、証券投資論 |
| 張 馨元 准教授 | 新興アジア経済、デジタル経済、農村経済 |
| 鶴岡 昌徳 准教授 | 産業組織論、応用計量経済学、応用ミクロ経済学 |
| 西川 輝 准教授 | 国際金融論 |
| 無藤 望 准教授 | ゲーム理論、ミクロ経済学 |
| 茂住 政一郎 准教授 | 財政社会学、アメリカ財政史 |

※授業科目名及び指導教員は変更になる場合があります。

I 募集人員

経済学専攻 若干名

II 出願資格及び出願要件

次のいずれかの出願資格に該当し、かつ、出願要件を満たす者が出願できます。

<出願資格>

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2020年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者または2020年3月31日までに学士の学位を取得見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2020年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2020年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2020年3月31日までに修了見込みの者
- (5) の2 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または2020年3月31日までに学位を授与見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2020年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者で、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 上記（1）～（8）に該当しない者で、本大学院の個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認めた者で、2020年3月31日までに22歳に達するもの

[注1] 上記以外の出願資格は認めません。

[注2] 出願資格（5）の2、（8）、（9）に該当する者については、事前に個別の入学資格審査を行う必要がありますので、「III 入学資格審査」を参照してください。

<出願要件>

外国人の出願者は、日本語能力試験のN1またはN2に合格したもの。

※学校教育法第83条に定める日本の大学を卒業した者（2020年3月31日卒業見込の者含む）については、日本語能力試験の結果を提出する必要はありません。ただし、当該大学での教育が日本語で行われた場合に限りです。

III 入学資格審査

上記「II 出願資格」の（5）の2、（8）、（9）に該当する者は、事前に個別の入学資格審査を行う必要がありますので、以下に従って手続を行ってください。

1. 入学資格審査手続

- (1) Web出願システムにアクセスし、メールアドレス等の登録を行ってください。引き続きWeb出願システムにログインし、必要な事項を全て入力して申請登録を行ってください。

申請登録期間：2019年12月9日（月）～12月13日（金）

U R L : <http://e-apply.jp/e/ynu/>

※一度「出願申請」をクリックした後は、登録内容を変更することはできません。

※入力項目について、「IV 出願手続き及び期間 3.提出書類」（8頁）を参照してください。

- (2) 申請登録後、Web出願システムで作成した申請書等をA4サイズ用の紙に印刷してください。（出願手続で使用する様式も印刷されます。）
- (3) 以下の書類を2019年12月16日（月）までに提出してください。（提出先は6頁「2. 入学資格審査に必要な書類の提出先」を参照してください。）

①入学資格認定申請書

②入学試験出願資格認定審査調書

③修学年数調書……学歴等について入力したもので、外国人の申請者のみ提出してください。

④研究業績・実務経験等についての報告書

⑤研究計画書

⑥最終学歴の卒業（見込）証明書または在学期間（見込）証明書……出身大学（学部）長の作成のもの。外国の学校の出身者で学士の学位を取得している者は併せて学位証明書を提出すること。（卒業証明書等で学位が確認できる場合は不要です。）

⑦成績証明書……出身大学（学部）長が作成したもの。発行者（大学、学部等）において厳封したものが望ましい。（編入学した者は、編入学前の出身校の成績証明書を併せて提出してください。）

（「厳封」とは、証明書の入った封筒が一度も開かれていないことを示すために、封じ目（封を閉じた部分）に押印（大学の公印や緘印等）もしくは学長または学部長による署名がしてある状態を指します。これは、証明書の内容が発行後に変更されていないことを証明するために必要となります。）

※上記①～⑤はWeb出願システムで作成し、A4サイズ用の紙に印刷したものです。

※研究計画書及び成績証明書については、8頁の「3. 提出書類」の説明を参照してください。

※証明書が日本語もしくは英語以外で書かれている場合は、その証明書を和訳して提出してください。

※Web出願システムから印刷した書類のうち、入学願書及び写真票は出願手続に必要な書類ですので、出願時まで保管してください。

(4) 注意事項

①提出書類に関して大学から問い合わせをする場合は電子メールで行います。電子メールは、Web出願システムに登録したメールアドレスに送信します。〈@ynu.ac.jp〉の電子メールを受信出来るよう設定しておいてください。

②入学資格審査手続は、2019年12月13日（金）までにWeb出願システムによる申請登録を行ったうえで、2019年12月16日（月）までに必要書類が提出されたもののみを受理します。

③Web出願システムの入力において、一定時間（約20分間）何も操作を行わなかった場合、入力内容が取り消される場合があります。

④Web出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。

⑤Web出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

株式会社ディスコ 「学び・教育サポートセンター」

T E L : 0120-202079（受付時間：月～金 10:00～18:00）

E-Mail : cvs-web@disc.co.jp

2. 入学資格審査に必要な書類の提出先

(1) 提出期限：2019年12月16日（月）まで（郵送の場合も必着）

(2) 提出先：〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3

横浜国立大学社会科学系経済学務係

- (3) 提出方法は、窓口への持参又は書留速達による郵送とします。
- ①窓口受付は平日9時～17時、時間厳守すること。(12時45分～13時45分を除く。)
 - ②封筒表面にWeb出願システムから印刷した宛名ラベルを貼り付けること。
 - ③海外からの郵送の場合は国際宅配便等の配達経路の確認が可能な手段とすること。
 - ④提出の際は、Web出願システムから印刷した「入学資格審査提出書類チェック票」により、提出書類に漏れがないか確認すること。

3. 入学資格審査結果通知

2020年1月7日(火)に電子メールにて通知します。

※入学資格審査の認定を受けた者は、後述の『IV 出願手続及び期間 1. 出願手続方法(2) 「II 出願資格」の(5)の2、(8)、(9)に該当する者』を参照して出願手続を行ってください。

IV 出願手続及び期間

1. 出願手続方法

- (1) 「II 出願資格」の(1)～(7)に該当する者(入学資格審査を要しない者)
- ①Web出願システムにアクセスし、メールアドレス等の登録を行ってください。引き続きWeb出願システムにログインし、必要な事項を全て入力して出願申請を行ってください。
出願申請期間：2020年1月9日(木)～1月15日(水)
U R L : <http://e-apply.jp/e/ynu/>
※一度「出願申請」をクリックした後は、登録内容を変更することはできません。
※入力項目について、「IV 出願手続及び期間 3. 提出書類」(8頁)を参照してください。
 - ②出願申請後、支払手続画面の指示に従って入学検定料の支払手続を行ってください。(入学検定料の支払い方法は、8頁の「3. 提出書類」の「⑤入学検定料」を参照してください。)
なお、支払手続は2020年1月15日(水)までに完了してください。
 - ③支払手続後に受信した支払完了通知メールをA4サイズ用の紙に印刷してください。
 - ④8頁の「3. 提出書類」の内容を取りそろえ、8頁の「2. 提出期限及び提出先」を参照の上、2020年1月16日(木)まで(郵送の場合も必着)に提出してください。
- (2) 「II 出願資格」の(5)の2、(8)、(9)に該当する者(入学資格審査の認定を受けた者)
- ①入学資格の認定を受けた者はWeb出願システムにログインし、支払手続画面の指示に従って、2020年1月15日(水)までに入学検定料の支払手続を完了してください。(入学検定料の支払い方法は、8頁の「3. 提出書類」の「⑤入学検定料」を参照してください。)
 - ②支払手続後に受信した支払完了通知メールをA4サイズ用の紙に印刷してください。
 - ③8頁の「3. 提出書類」の内容を取りそろえ、8頁の「2. 提出期限及び提出先」を参照の上、2020年1月16日(木)まで(郵送の場合も必着)に提出してください。(入学資格審査の認定を受けた者は、既に提出している書類を除く)
※保管している入学願書等を紛失した場合は、Web出願システムにログインし、再度印刷してください。
- (3) 注意事項
- ①提出書類に関して大学から問い合わせをする場合は電子メールで行います。電子メールは、Web出願システムに登録したメールアドレスに送信します。(<@ynu.ac.jp>)の電子メールを受信出来るよう設定しておいてください。
 - ②出願手続は、2020年1月15日(水)までにWeb出願システムによる出願申請及び入学検定料の支払いを行い、必要書類の提出のすべてが2020年1月16日(木)までに完了

(郵送の場合は必着) していることが確認されたもののみ受理します。

- ③Web出願システムの入力において、一定時間(約20分間)何も操作を行わなかった場合は入力内容が取り消される場合があります。
- ④Web出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。
- ⑤Web出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

株式会社ディスコ 「学び・教育サポートセンター」

T E L : 0120-202079 (受付時間: 月~金 10:00~18:00)

E-Mail : cvs-web@disc.co.jp

2. 提出期限及び提出先

(1) 出願書類の提出期限: 2020年1月16日(木)まで(郵送の場合も必着)

(2) 提出先: 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3

横浜国立大学社会科学系経済学務係

Graduate School Office, Graduate School of International Social Sciences

Yokohama National University

79-3 Tokiwadai, Hodogaya-ku, Yokohama, 240-8501 JAPAN

(3) 提出方法は、窓口への持参又は書留速達による郵送とします。

①窓口受付は平日9時~17時、時間厳守です。(12時45分~13時45分を除きます。)

②封筒表面にWeb出願システムから印刷した宛名ラベルを貼り付けること。

③海外からの郵送の場合は国際宅配便等の配達経路の確認が可能な手段とすること。

④提出の際は、Web出願システムから印刷した「出願提出書類チェック票」により、提出書類に漏れがないか確認すること。

3. 提出書類

以下の①~⑬のうち該当する書類をすべて提出してください。なお、①~④および⑬は入学検定料を支払った後、Web出願システムからA4サイズの用紙に印刷してください。

※証明書が日本語もしくは英語以外で書かれている場合は、その証明書を和訳して提出してください。

①入学願書 志願者の氏名、連絡先、学歴、専門科目試験の選択科目、希望する指導教員(任意)等について入力し、Web出願システムから印刷後、2枚目に署名及び日付を記入し、写真(縦4cm×横3cm: 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身無帽のもの)を貼付したもの。

※専門科目試験の選択科目については、「VI 入学者選抜方法及び試験科目」(10頁)を参照して受験科目の選択してください。

※希望する指導教員があれば、第2希望まで記入してください(任意)。ただし、出願時に希望した指導教員が、入学後、実際の指導教員になるとは限りません。

②写真票 Web出願システムから印刷後、写真(入学願書と同一のもの)を貼付したもの。

③修学年数調書 学歴等について入力したもので、外国人の出願者のみ提出してください。

④研究計画書 ◆①大学院において研究しようとするテーマについて、全角40字以内の日本語で入力してください。

◆②予定している研究の具体的内容について、研究方法や研究の意義を含めて、全角1,200字以内の日本語で入力してください。

◆③大学院修了後の進路志望、④当大学院の志望理由、⑤経済学に関連する分野の学修状況、⑥数学・コンピューティングの知識、⑦その他社会科学の知識について、③~⑦を合わせて全角400字以内の日本語で入力してください。なお、入力の際には丸数字を入れてください(項目名は入力不要)。

⑤入学検定料 30,000円

Web出願システムで出願申請した後に表示される支払手続画面に従い、2020年1月15日(水)までに支払手続を完了してください。支払手続後に受信した支

払完了通知メールをA4サイズの用紙に印刷したものを提出してください。

【支払方法は次から選択できます】

- a. コンビニエンスストア
- b. Pay-easy (ペイジー) 対応ATMによる支払
- c. Pay-easy (ペイジー) 対応ネットバンクによる支払
- d. クレジットカード (海外在住の志願者及び外国人留学生志願者のみ)
- e. 中国銀聯網決済 (海外在住の志願者及び外国人留学生志願者のみ)

※支払時に別途必要な支払手数料は、志願者本人の負担となります。

※支払方法の詳細は、Web出願システム「はじめに」の「検定料の支払いについて」を参照してください。

※コンビニエンスストア及びPay-easy (ペイジー) 対応ATMの支払方法を選択した場合は、Web出願システムの画面に表示された各種支払用の番号を当該支払機関に持参の上、お支払いください。

※支払後に受取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、ご自分の控えとして大切に保管してください。

※普通為替や現金では受理できません。

※出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還いたしません。

- ・入学検定料を払い込んだが本学大学院に出願しなかった場合、又は出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。

【返還方法の問い合わせ先】社会科学系経済学務係 (045-339-3509)

※災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について本学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学Webサイトをご覧ください。

(<https://www.ynu.ac.jp/exam/index.html>)

⑥成績証明書 出身大学(学部)長が作成したもの、発行者(大学、学部等)において厳封したものが望ましい。(編入学した者は、編入学前の出身校の成績証明書を併せて提出してください。)

※「厳封」とは、証明書の入った封筒が一度も開かれていないことを示すために、封じ目(封を閉じた部分)に押印(大学の公印や緘印等)もしくは学長または学部長による署名がしてある状態を指します。これは、証明書の内容が発行後に変更されていないことを証明するために必要となります。)

⑦卒業証明書又は卒業見込証明書

前記「II 出願資格(2)」により出願する者は学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出すること。

外国の学校の出身者で学士の学位を取得している者は併せて学位証明書を提出すること。(卒業証明書等で学位が確認できる場合は不要です。)

⑧TOEFL-iBTの成績証明書

「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」発行の「Official Score Report」(2019年8月から「Institutional Score Report」)のみ有効。

「Official Score Report」が、「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」から横浜国立大学へ直送されるように手配してください(本学のコードは下記参照)。出願期間内(2020年1月16日(木))まで必着です。

※本学(横浜国立大学)への送付手続きをする際に、次のコードを使って、出願期間内までに成績証明書が届くように日数に余裕を持たせて手続きを済ませてください。手続き方法や発行に要する日数等については、TOEFLテストの日本事務局(CIEE)のホームページに詳しく掲載されていますので、そちらを参考にしてください。出願期間内(2020年1月16日(木))までに成績証明書

が本学に届いていない場合、原則として出願は受理されません。

| |
|--|
| 横浜国立大学 (Yokohama National University) Institution Code 0 4 1 0 |
|--|

※2019年8月から TOEFL のスコアシートに Test Date Scores と MyBest Scores の両方が表示されますが、スコアとしては Test Date Scores が採用されます。

⑨日本語能力試験N1、N2のいずれかの成績証明書

外国人の出願者のみ提出する。

※日本国際教育支援協会の発行する「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出する。証明書は必ず原本を提出すること。コピーは不可。

| |
|--|
| 上述の「証明書」を提出せずに「日本語能力認定書」「日本語能力試験合否結果通知書」のみを提出した場合、 <u>出願は無効</u> になります。 |
|--|

※学校教育法第83条に定める日本の大学を卒業した者（2020年3月31日卒業見込の者含む）については、日本語能力試験の結果を提出する必要はありません。ただし、当該大学での教育が日本語で行われた場合に限りです。

⑩在留カードの写し 提出は外国人の出願者のみ。

両面をコピーして提出すること。ただし、在留カードを交付されていない場合は「パスポートの写し」を提出し、受験当日はパスポートを持参してください。

⑪その他の語学に関する成績証明書

⑧、⑨のほか、出願者の母語以外の語学能力試験についての成績証明書を提出することができる。証明書は必ず原本を提出すること。コピーは不可。

⑫出願提出書類チェック票

4. 受験票

2020年2月3日（月）（予定）までに、出願を正式に受理した旨を電子メールでお知らせします。受験票は、電子メールに記載されている指示に従い、Web出願システムにログインして印刷してください。印刷した受験票は、写真を貼付けのうえ、試験当日に持参してください。

V 身体に障がいのある者の出願

身体に障がいのある場合（出願受付後の不慮の事故による負傷者等を含む）は、受験及び修学の上で配慮を必要とすることが起こり得ますので、「Ⅻ 特記事項 2. 障がい等のある入学志願者の事前相談について」の別表を参照し、事前相談様式にて社会科学系経済学務係へ相談してください。

なお、別表から判断できない場合については、社会科学系経済学務係へお尋ねください。

VI 入学者選抜方法及び試験科目

出願書類、学力検査、口述試験の内容を総合して合否を決定する。

| 検査期日・試験時間 | 試験科目等 |
|--------------------------------|---|
| 2020年2月13日（木） 9:00～10:00 ※1 | 【専門科目】※2 「ミクロ経済学」「統計学・計量経済学」の2科目から1科目を選択し解答する。 専門科目の出題は日本語で行うが、外国人の出願者は解答を英語で行うこともできる。ただし、語学辞典は持ち込み不可。 |

2020年2月13日(木)
2020年2月14日(金)
※3 ※4

【口述試験】

原則として日本語により面接を行う。

- ※1 試験開始時刻に遅れた者は、受験できない場合があります。
- ※2 出題科目(専門科目)の説明は「Ⅻ 特記事項2」の出題科目(専門科目)の説明を参照してください。
- ※3 2020年2月14日(金)は予備日です。受験者数によっては、この日に口述試験を行う場合があります。
- ※4 口述試験の日程、集合時間は出願受け付け後、電子メールと本学府ホームページ(<https://www.gsiss.ynu.ac.jp/>)でお知らせします。

Ⅶ 学力検査等の場所

横浜国立大学経済学部講義棟 他(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3)

Ⅷ 合格者の発表

2020年2月20日(木) 15時頃

本学府掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知を郵送します。(電話による照会には一切応じません。)

- ※1 参考として本学府ホームページ(<https://www.gsiss.ynu.ac.jp/>)上にも掲載します。

Ⅸ 入学時期と入学時に必要な経費

1. 入学の時期 2020年4月
2. 入 学 料 282,000円(現行)
3. 授業料年額 535,800円(半期267,900円)(現行)

入学時及び在学中に入学金、授業料等の納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

4. 詳細は入学手続き書類と一緒に送付します。

Ⅹ 入学手続き期間

2020年3月2日(月)～3月6日(金)まで。

入学手続きは、原則として、社会科学系経済学務係の窓口にて受付。

窓口受付時間：平日9時～12時45分、13時45分～17時。

郵便の場合は2020年3月6日(金)必着。

Ⅺ 注意事項

1. 入試に関する事務は、横浜国立大学社会科学系経済学務係で行います。
2. 入試に関する照会は、int.keizai@ynu.ac.jp宛に電子メールにてお問い合わせください。
3. 資格審査手続及び出願手続後の提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。
4. 試験当日は、必ず受験票をご持参ください。
5. 在留資格「留学」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

XII 個人情報取り扱いについて

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法）の規定に基づく、「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に則り、出願書類等により、志願者から提出された個人情報については、本学府入学試験に係る用途の他、本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究に関する業務にのみ使用し、他の目的に利用、または提供されることはありません。

XII 特記事項

1. 出題科目（専門科目）の説明

| 出題科目（専門科目名） | 説 明 |
|-------------|---|
| ミクロ経済学 | ミクロ経済学の主な出題範囲は、消費者行動、企業行動、完全競争市場、厚生経済学、不完全競争市場、外部性と公共財、不確実性下の意思決定、ゲーム理論などである。 |
| 統計学・計量経済学 | 統計分野を扱い、出題範囲は2変量までの確率論、推定、検定とする。計量経済分野を扱い、出題範囲は重回帰分析・同時方程式モデルとし、行列は用いない。 |

2. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

入学を志願する者で、別表に該当する者（出願受付締切後の不慮の事故による負傷者等を含む）は、受験及び修学の上で配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず社会科学系経済学務係へ次の様式により事前に相談してください。

なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

別表

| 区 分 | 障 が い の 程 度 |
|-------|---|
| 視覚障がい | 両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの |
| 聴覚障がい | 両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの |
| 肢体不自由 | 1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号にかかげる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの |
| 病 弱 | 1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの |
| 発達障がい | 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者 |

(様式) A4判縦

令和 年 月 日

横浜国立大学長 殿

ふりがな
氏 名
生年月日
住 所 〒
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学府・専攻
2. 障がい等の種類、程度
3. 受験上配慮を希望する事項・内容
4. 修学上配慮を希望する事項・内容
5. 出身大学在学中にとられていた配慮事項の内容
6. その他 (添付書類) 診断書又は身体障害者手帳(写)、その他参考資料

3. 大学院設置基準第14条による教育方法の特例について

大学院へ企業等に在職のまま入学を希望する社会人に対して、入学後も社会人が学びやすいような特例措置があります。

- ① 2年間の履修計画の作成は、指導教員の指導のもとに行ってください。
- ② 2年間で修了することが勤務の都合上無理な場合は、予め3～4年間の履修計画をたてることもできます。
- ③ 修学年限2年のうち第1年次は、全日通学を原則とします。
- ④ 特例によって授業又は研究指導を行う必要のある場合は、指導教員の承認を前提とし、以下のように行えます。

平日夜間 5時限 16時15分～17時45分

6時限 17時50分～19時20分

7時限 19時25分～20時55分

休業期間における集中

XIV 横浜国立大学私費外国人留学生授業料免除制度について

①制度

学業成績の優秀な私費外国人留学生の受入れ促進及び入学後の奨学支援を行うことを目的とした授業料免除制度です。学業成績のみにより選考を行い、上位の者から、全額免除、半額免除、3割免除の順に割り当てます。(なお、博士課程後期は上位の者から順に全額免除または半額免除になります。)

②対象者

本学の学部または大学院の正規課程に私費外国人留学生として出願する者で日本国の法律(「出入国管理及び難民認定法」)に定められる「留学」の在留資格を有する者または取得見込みの者が対象となります。

※国費外国人留学生、外国政府派遣留学生、及び私費外国人留学生のうち本人に代わり独立行政法人国際協力機構、世界銀行、外国政府その他の機関が授業料を負担することになった者については免除の対象者とはなりません。

③評価・選考方法

入学試験の成績のみにより選考を行います。学部生及び博士課程前期（修士課程）学生については、上位 50%に適用され、上位 10%以内が全額免除、次の 20%が半額免除、その次の 20%が 3 割免除となります。（なお、博士課程後期は上位の者から順に全額免除または半額免除になります。）

④申請方法（ウェブサイトからのダウンロードを想定）

申請を希望する者は、以下のウェブサイトから「申請書・経費支弁計画書」をダウンロードし、他の出願書類と一緒に出願時に郵送にて提出してください。

URL: https://www.ynu.ac.jp/campus/expense/foreign_exempt.html

⑤結果通知及び必要手続き

結果は入学試験の合格者発表時に通知されます。「免除予定者」として決定した者は、所定の手続きを完了することで「免除を許可された者」として決定されます。なお、「免除を許可された者」としての決定通知は学期ごとに学生情報システムにより行われます。（博士課程後期は別途通知します。）

⑥備考

免除期間は入学時から連続して 2 学期間です。2 年次以降については学期ごとに申請者の学業成績に基づき、適用者及び適用免除額の見直しを行います。2 年次以降に授業料免除を希望する者は、所定の期日までに申請を行ってください。詳細は 2020 年 12 月頃に本学ウェブサイトに掲載する予定です。